

CSR評価 東芝106位

2008年2月 Newsweek誌 発表

東芝の職場から差別をなくす 差別 争議 全面一括解決を



2008年2月5日 浜松町～中労委デモ（増上寺前）

東芝のCSR（企業の社会的責任）評価が、2008年は106位と大きく下がりました。昨年は5位でした。

東芝のCSR評価下がる 組合活動で差別する会社

これはスイスのSRI（社会的責任投資）調査会社の先進19カ国、1900社のCSRデータベースをもとにした評価で、「従業員」の項では「団体交渉権の保障、差別の禁止」などが評価項目に入っています（Newsweek誌、2008-2-13）。

東芝が労組法を無視して差別是正命令を守らず、差別争議の解決を引き延ばしてきたこと、過労うつ病労災の技術者を解雇して使い捨てていることなどが、東芝の職場を明るくする会のホームページなどで広く知られ、評価ランクの低下につながったものとみられます。

<世界350社 企業のCSRランキング>

会社名	順位	従業員	顧客	地域社会	調達先	企業統治	環境
シャープ	2	82.7	84.2	75.5	92.5	66.4	86.8
松下電器	24	75.7	78.4	72.5	71.4	67.4	78.8
東芝	106	50.5	64.8	75.9	58.7	69.5	83.3

許せない！ 会社の主張 「申立外の人への差別は立証なし」

これまで県や国の労働委員会（労働者の権利を守る行政機関）は、「労働者と話し合い、争議を早期に解決すべきだ」と東芝に和解をすすめて働きかけてきました。

ところが会社は「労働委員会に申し立てなかった人は、差別が立証されていないから、是正する必要がない」と主張し、いまだに争議解決を求める労働者との話し合いや、要請団との面会に応じていません。

東芝にだされた3度の労働委員会命令は「東芝の差別は、申立人や申立人と一っしょに活動してきた人たちを『問題者名簿』にリストアップして差別してきた」ことを多数の証拠にもとずいて認定しており会社の主張は許せません。

差別を是正し 再発を避け 差別をなくして明るい職場に

東芝は、今後差別を残さない全面一括解決要求に誠実にこたえるべきです。

申立人12名と申立人と共に活動してきた労働者の差別を一括して是正し償うこと。秘密組織「東芝扇会＝自己啓発の会」を解散し、労組支配介入をやめること。組合活動や思想信条による差別の再発を防止し、人権を守ること。

東芝の職場を明るくする会 ホームページ
71万アクセス突破
検索のキーワードは「東芝の職場」



東芝争議支援共闘会議・東芝の職場を明るくする会

〒210-0006 川崎市川崎区砂子2-11-20 大幸ビル402 川崎労連内 TEL 044-211-5164 2008年2月

生活改善必要額(月額)3万円以上の回答が77%!

春闘アンケートへのご協力ありがとうございました

電機懇が取り組んだ08春闘要求アンケートに全国の職場から協力を頂きありがとうございます。寄せられたアンケートの中間集計1210枚を超える結果から報告します。

寄せられたアンケートは、派遣・請負の方が昨年の11.0%から12.9%と職場実態を反映して増加しました。年齢分布は、20歳代が17.0%、30歳代が29.1%、40歳代が16.9%、50歳代が35.1%となっています。
男女比では、女性が15.7%です。寄せられた要望意見は、約253名の方から切実な要望・意見が届き、生活改善の必要額の加重平均は3万6751円となりました。



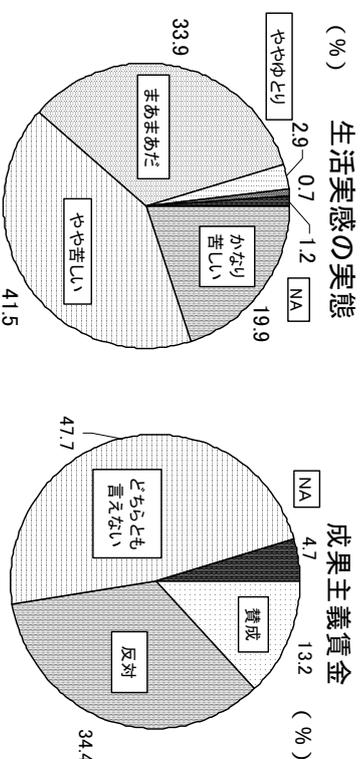
電機懇は、1月19日(土)都内で「08春闘、電機の集い」を開催し、08春闘要求アンケートの集計結果報告、電機懇08春闘の提言(裏面に骨子掲載)を発表しました。
電機の職場からの報告や討論は、日立・東芝・NEC・沖電気・サンケン電気の職場が行いました。
さらに「政治経済情勢の特徴と08春闘の課題」と題して、日本大学名誉教授の牧野富夫さんに講演をして頂きました。
08春闘を職場から取り組みの強化を意思統一しました。

Electric Labor and Industry Correspondence

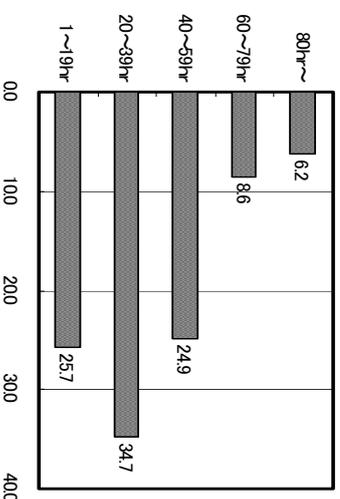
2008年2月号



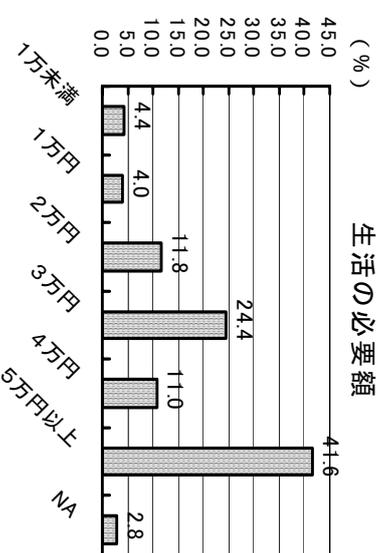
号外



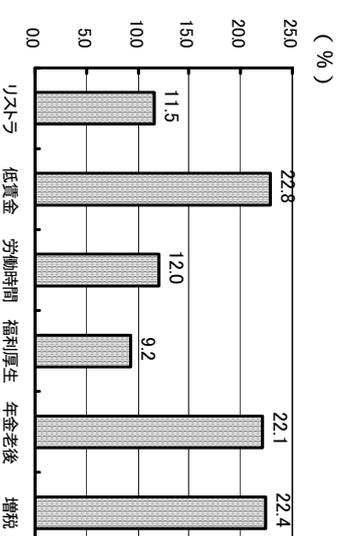
生活実感は、昨年と同様に「生活の苦しさ」が61%と多数となっています。07春闘の評価は「満足」16%に対して「不満」が37%と多くなっています。成果主義賃金は、全体的にも賛成が13%で、反対が賛成の倍となっており、若い世代でも「どちらとも言えない」多数となっていますが、賛成が21%しかないのでからも再検討が必要となっています。



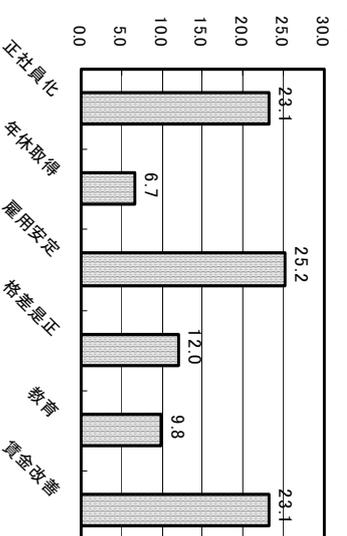
「生活改善の必要額」への回答は、3万円以上必要と感じている方が77%と多数です。
残業時間の実態は、最高が200時間の訴えがあり長時間労働の実態が明らかになりました。
「困っている、不安なこと」では、低賃金・年金や老後・増税などが多数となっています。
今回初めて行なった「非正規社員の要求では、当然のことながら「正社員化」と「雇用の安定」を求める回答が多くなっています。



困っている、不安なこと



非正規社員の要求



電機労働者懇談会

関東: 03-3455-6006 関西: 106-6354-7237
事務局Eメール: denkikon@com.home.ne.jp
ホームページ: <http://www.denkikon.net/>